



2014年3月期 決算説明会資料

2014年5月16日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

1. 経営環境
2. 2014年3月期 決算概況
3. 2015年3月期 業績予想
4. 中期経営計画
「バリュークリエーション15」の進捗
5. 会社概要

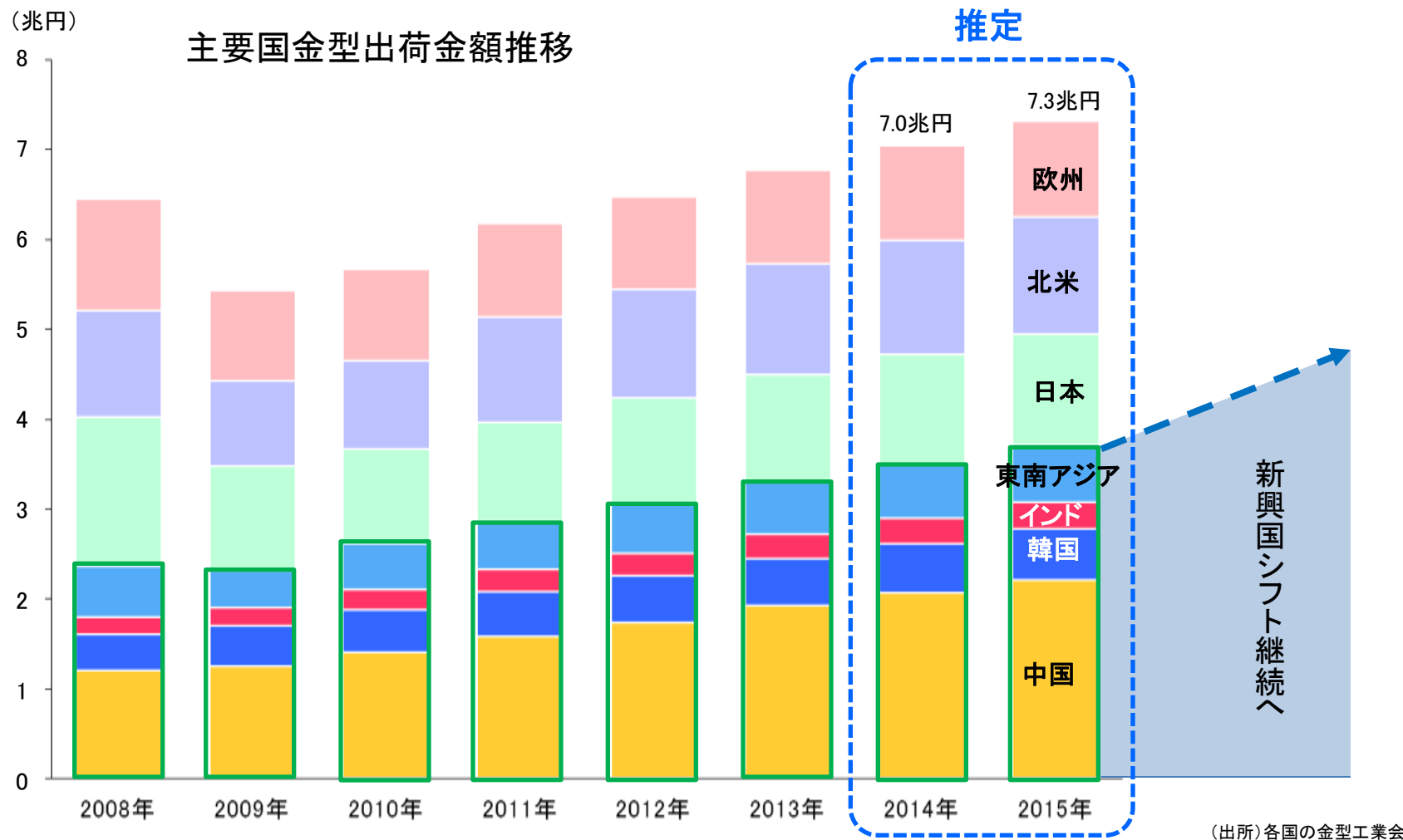


1. 經營環境



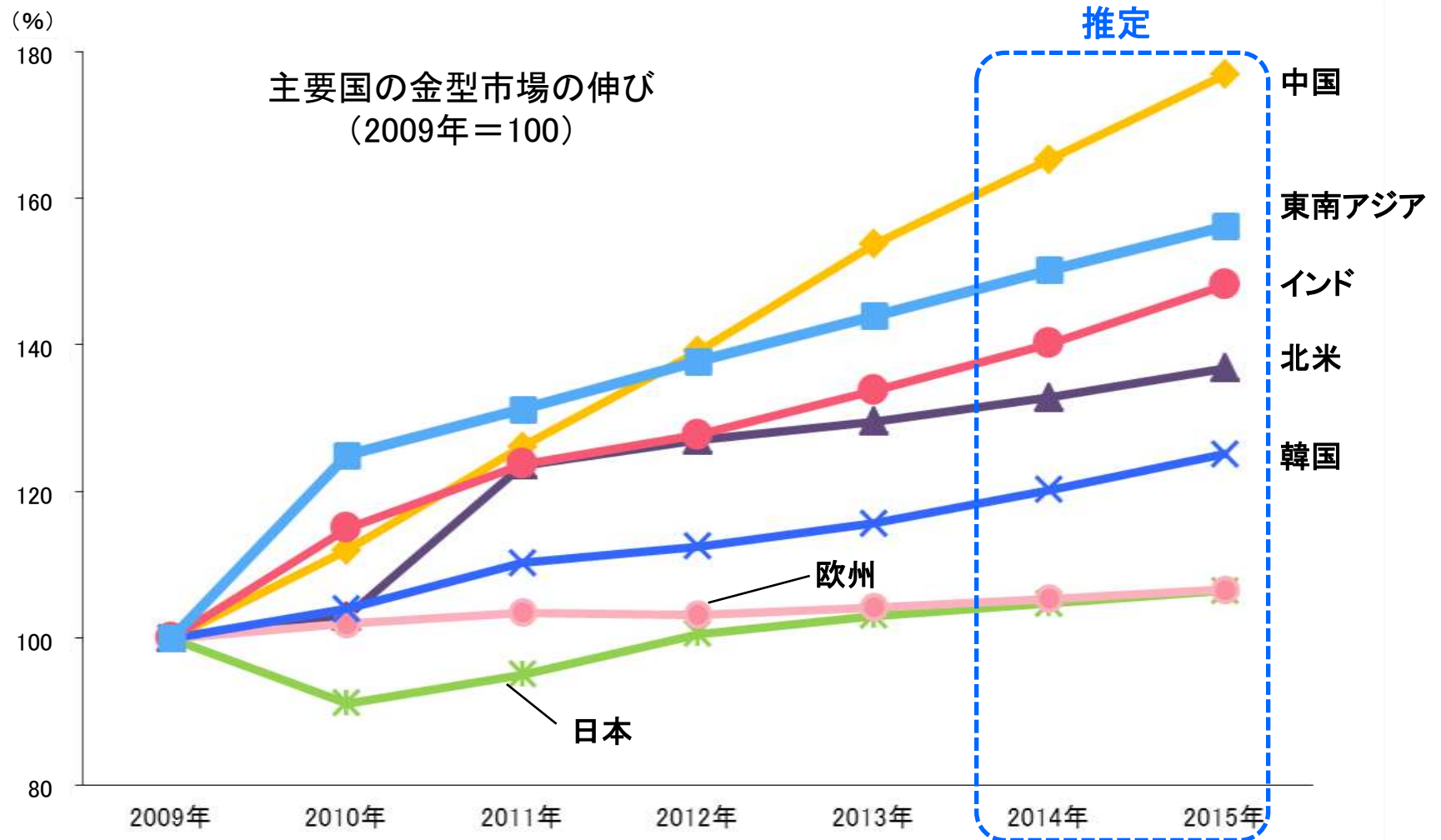
金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実に回復。緩やかながらも成長基調。

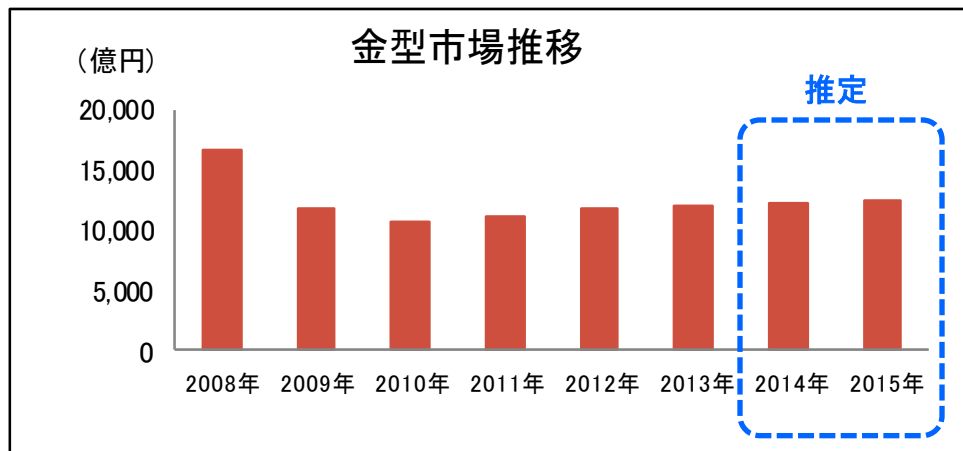


金型市場の予想(成長性)

金型需要は成熟市場から新興国市場(中国・インド・東南アジア)へシフト。



国内市場



円安で輸出産業が好調。
好調な自動車に加え、家電・精密
機器や電子部品・半導体も復調と
なった。消費税率の改正に伴う
前倒し需要も寄与。

顧客業界 動向

自動車

国内は新車投入が相次ぎ好調。北米向けも堅調に推移。
EU向けは回復の兆し。

電子部品

中国スマホ向けが拡大。PC減を吸収し、堅調に推移。

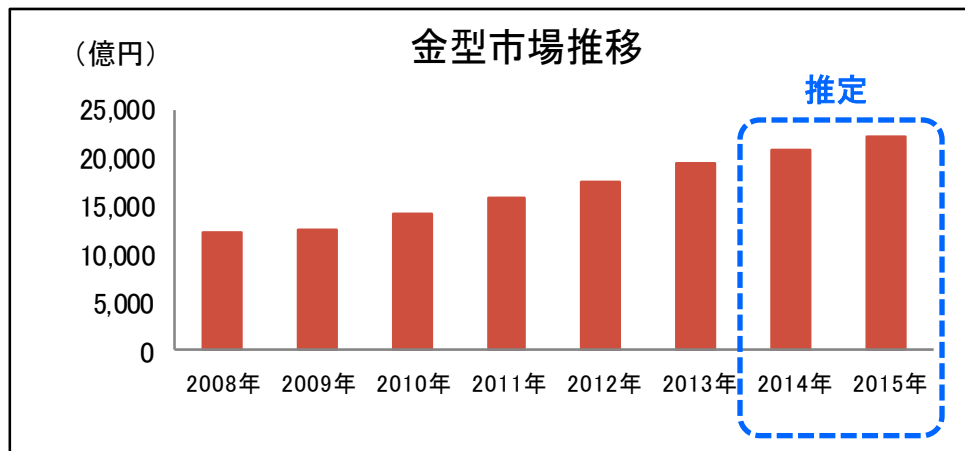
その他

食品・飲料が伸長し、医療、住宅関連も堅調に推移。

課題

自動車への継続的取組み。新分野への積極的取組み。

中国市場



経済成長減速と言われながらも、金型市場は2桁増。
好調な自動車に加え、家電・精密機器、電子部品・半導体など幅広い分野で復調。

顧客業界 動向

自動車

生産台数が2,200万台を超え、前年比15%増。
国内の買替需要と北米向けが伸長。

電子部品

スマホ販売台数は低価格モデルの導入で前年比65%増と急伸。

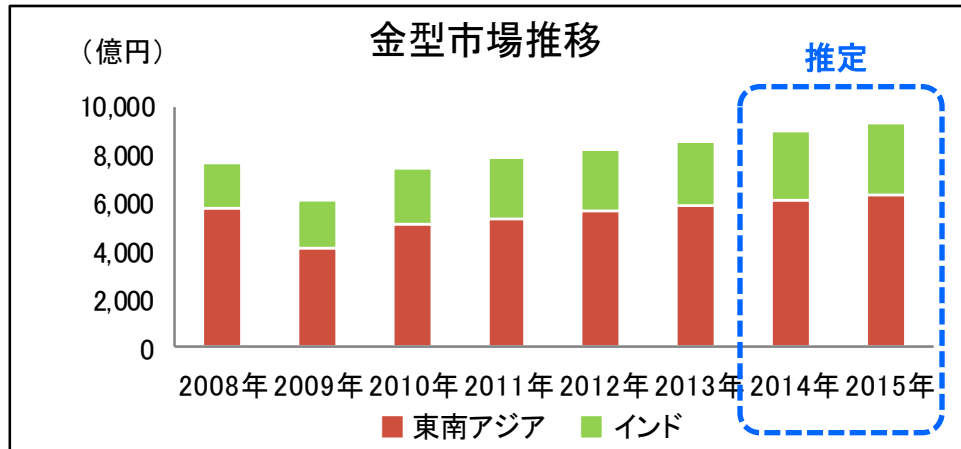
その他

医療は堅調。家電・精密機器、半導体も復調。

課題

戦略製品や医療など、高付加価値製品への取り組み。

東南アジア・インド市場



【東南アジア】

タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシアなどが牽引し、5%の成長を維持。

【インド】

景気減速ながら成長率は5%を堅持。自動車や電子部品は回復基調。

顧客業界 動向

自動車

アジア域内や北米向けが増え堅調に推移。
EU向けに回復の兆し。

電子部品

スマホやタブレットが好調。

その他

医療、食品に期待。

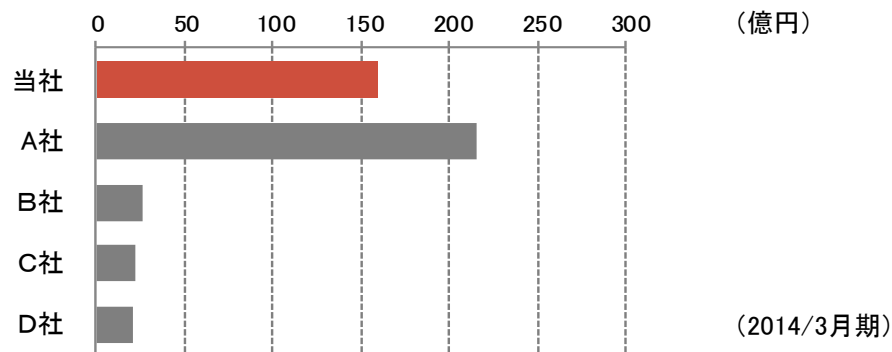
課題

事業基盤の確立と販路拡大。

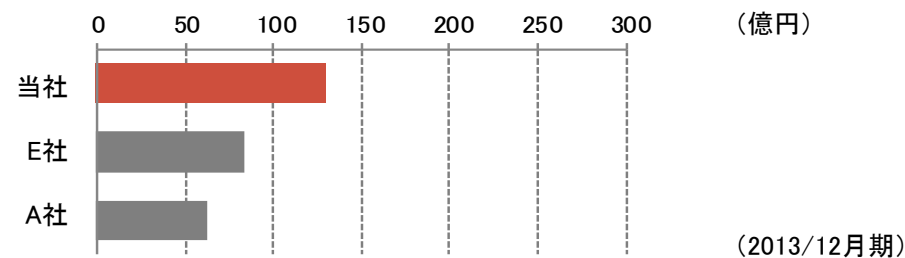
競合状況

当社グループ売上高は、国内、世界ともに2位、中国では1位。

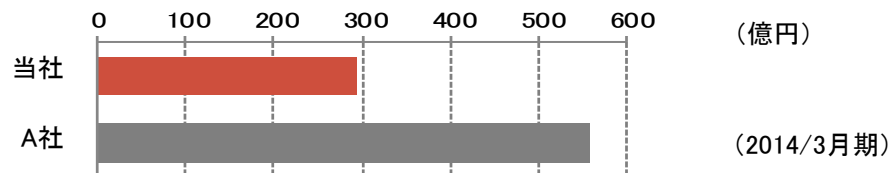
日本



中国



世界



(出所) 決算短信、帝国データバンク、当社推計





2. 2014年3月期 決算概況



2014年3月期 決算ハイライト

好調な自動車に加え、家電・精密機器及び電子部品・半導体などの復調、東南アジアグループの新規連結もあり、想定を上回る増収・増益となった。

売上	連結	連結売上高は、前年比18%、44億円増収の294億円となった。										
	日本	自動車関連の堅調、家電の回復に加え、注力している食品・飲料関連等の新分野の伸長もあり前年比増となった。										
	中国	好調な自動車に加え、電子部品・半導体や家電・精密機器などが復調、人民元高による為替の影響もあり前年を大きく上回った。										
	その他	東南アジアグループの新規連結による東南アジア、欧州での売上増、並びにインドの拡大で大幅増となった。										
利益		売上増に加え、国内工場稼働アップによる原価率低減及び単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は前年比4.5億円増の11.6億円となった。同時に、経常利益、当期利益も前年実績を大きく上回った。										
ネット資金		2QにM&A(15億円)を実施、4Qには公募増資(18億円)もあり、約10億円の改善。 <table><tr><th colspan="2">為替インパクト (億円)</th></tr><tr><td>売上(前年比)</td><td>27.0</td></tr><tr><td>営業利益(前年比)</td><td>▲0.1</td></tr><tr><td>2013年3月期平均レートRMB(円)</td><td>12.7</td></tr><tr><td>2014年3月期平均レートRMB(円)</td><td>15.8</td></tr></table>	為替インパクト (億円)		売上(前年比)	27.0	営業利益(前年比)	▲0.1	2013年3月期平均レートRMB(円)	12.7	2014年3月期平均レートRMB(円)	15.8
為替インパクト (億円)												
売上(前年比)	27.0											
営業利益(前年比)	▲0.1											
2013年3月期平均レートRMB(円)	12.7											
2014年3月期平均レートRMB(円)	15.8											



2014年3月期 損益計算書サマリー

売上、利益とも前年実績を大幅に上回って着地。2013/10/25に公表した数値も全てクリア。

(単位:百万円)

	2013年3月期 (実績)	2014年3月期					
		修正予想 (2013/10/25公表)	実績	前年差	修正予想差		
売上高	25,041	28,023	29,436	117.6% 4,395	105.0%	1,413	
営業利益	2.8% 707	3.7% 1,045	3.9% 1,161	164.1% 453	111.2%	116	
経常利益	3.3% 822	3.0% 839	3.6% 1,047	127.3% 224	124.8%	208	
当期純利益	0.9% 213	2.1% 580	2.4% 720	338.0% 507	124.3%	140	

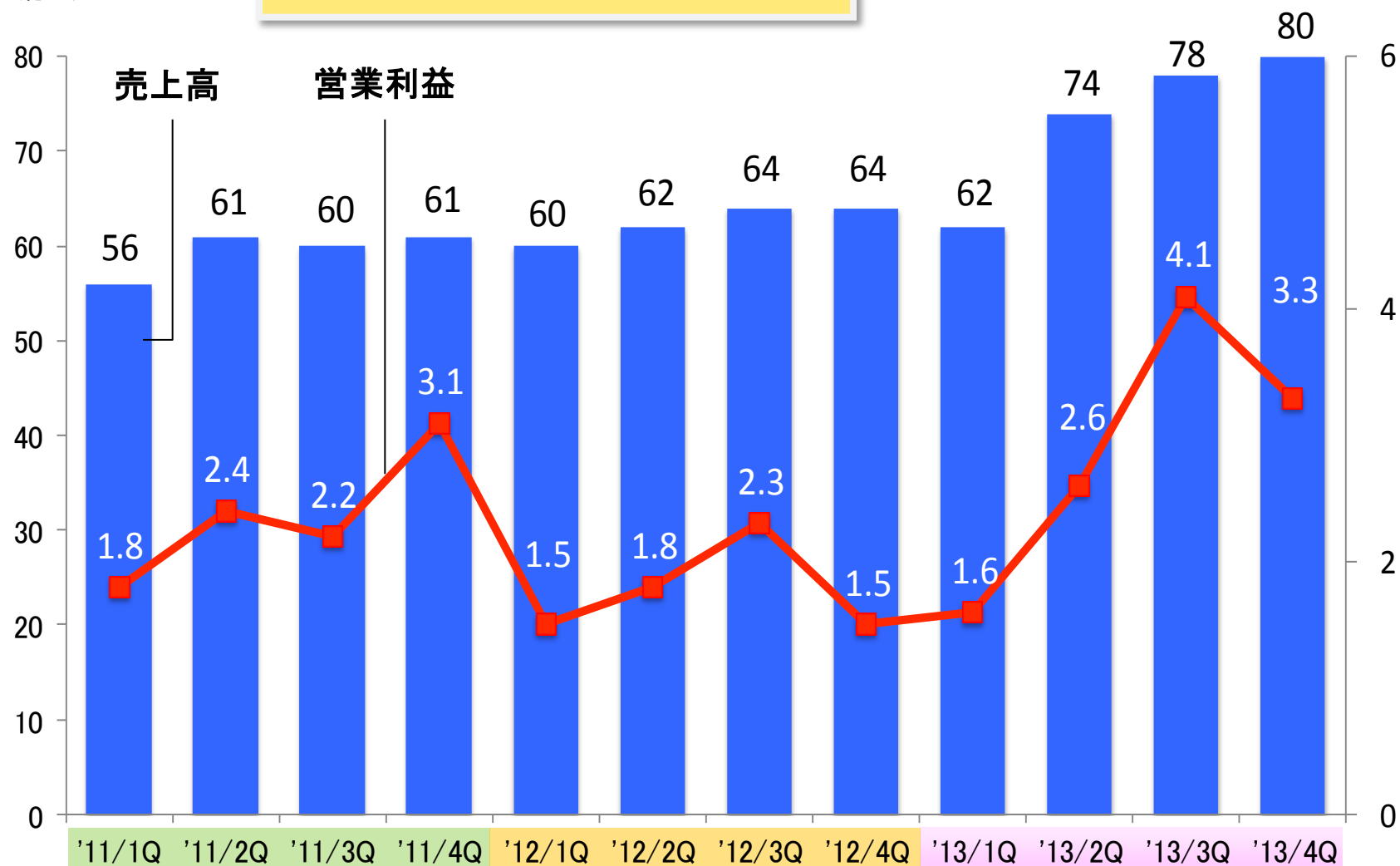


売上高と営業利益の推移

売上高
(億円)

売上高は過去最高。

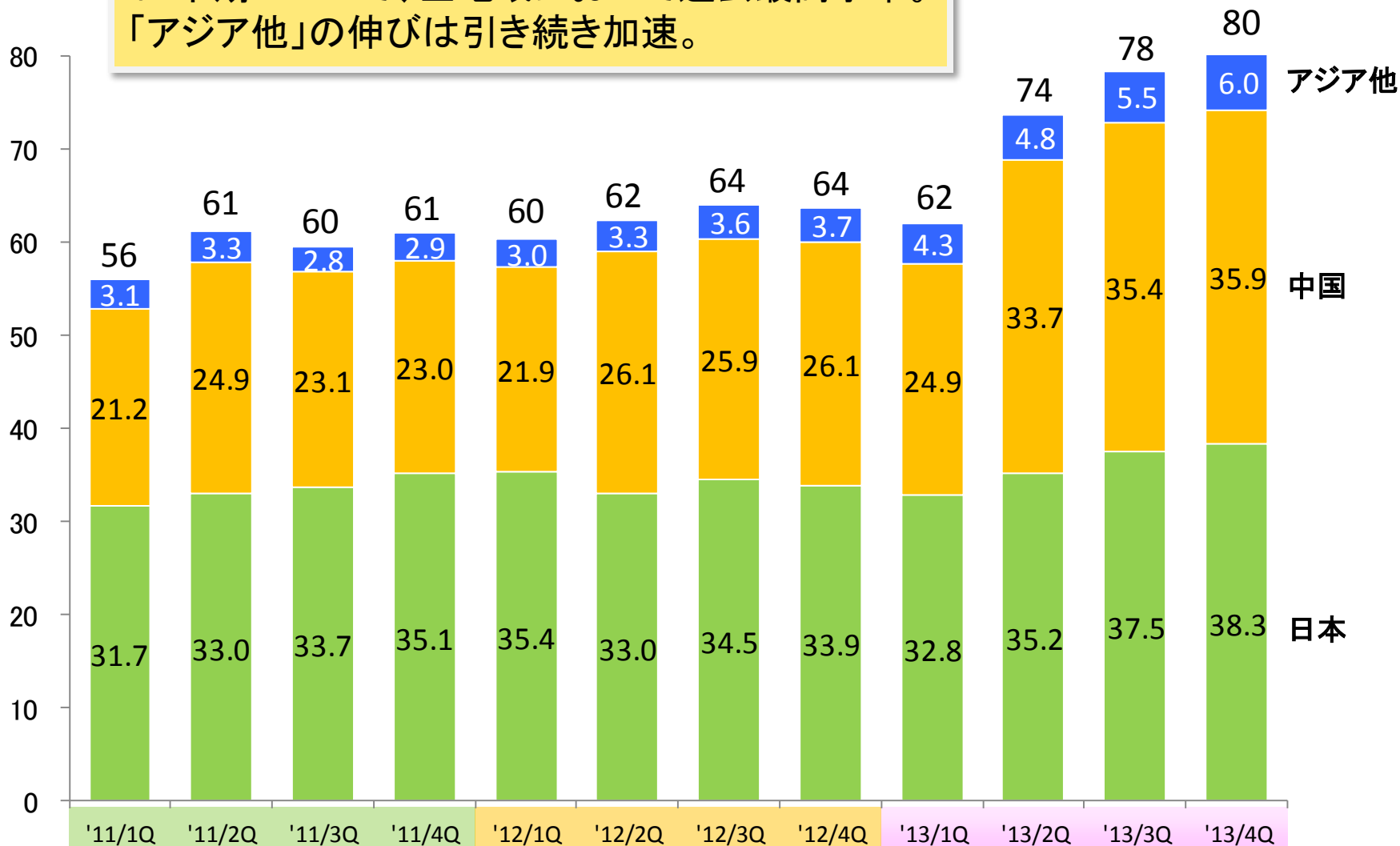
営業利益
(億円)



地域別売上高

売上高
(億円)

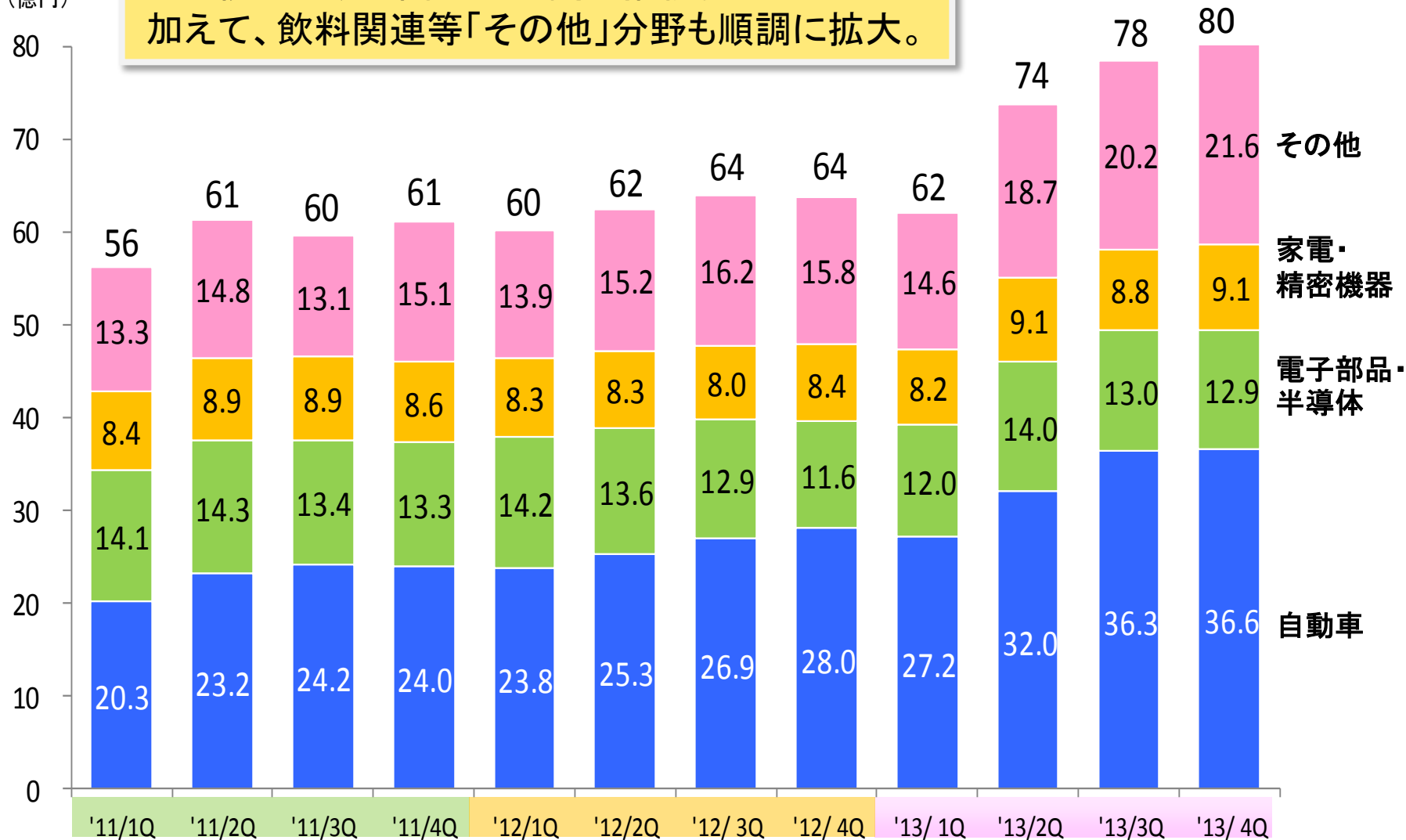
四半期ベースで、全地域において過去最高水準。
「アジア他」の伸びは引き続き加速。



業種別売上高

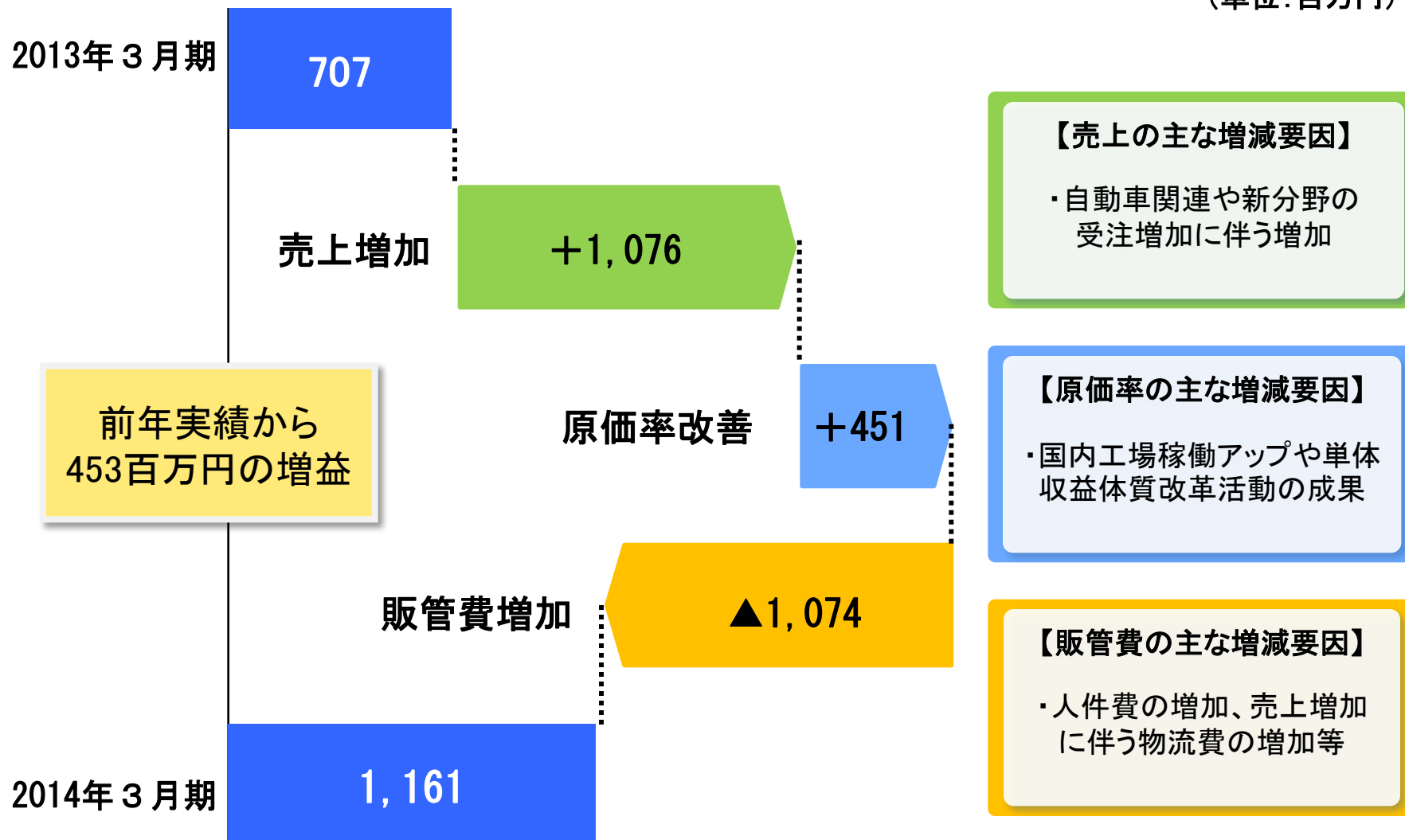
売上高
(億円)

引き続き自動車関連が堅調に推移。
加えて、飲料関連等「その他」分野も順調に拡大。



営業利益増減

(単位: 百万円)



2014年3月期 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前年比増減
総資産	20,573	24,471	3,897
総負債	14,847	15,108	261
うち有利子負債	8,953	7,743	▲1,209
純資産	5,726	9,362	3,636
ネット資金	▲7,212	▲6,216	996

自己資本比率	27.8%	38.2%	10.4ポイント
自己資本利益率(ROE)	4.3%	9.6%	5.3ポイント

設備投資額(無形固定資産含む)	1,032	621	▲410
減価償却費(無形固定資産含む)	1,072	1,170	97



2014年3月期 キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,690	1,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,773	▲1,252
フリーキャッシュ・フロー	▲83	▲58
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲41	▲370
現金及び現金同等物の増減額	▲5	▲234
現金及び現金同等物の期末残高	1,741	1,506





3. 2015年3月期 業績予想

2015年3月期 業績予想概況

中期経営計画「バリュークリエーション15」の取組みを着実に実行し、増収増益を目指す。

売上	連結	自動車関連を更に強化しつつ、中国、東南アジア、インドでの積極的な展開、欧米での販路拡大、新市場・新分野の開拓で前年比7%増の315億円を狙う。
	日本	自動車・電子部品等の取組みを更に強化し、食品・医療関連等の新分野の拡大を図り、ほぼ前年並みの146億円を見込む。
	中国	今年度も堅調に推移すると見られる自動車・情報通信関連を中心に販売を強化するとともに、戦略製品の拡販および内陸部展開を進め、前年比10%増の143億円を見込む。
	その他	インド・東南アジアでの拡販および欧州・米州への販売強化を行い、前年比26%増の26億円を見込む。
利益		グローバル展開及び研究開発への取組みを積極的に強化しつつ、単体収益体質改革活動や、中国の戦略製品及び高付加価値製品の拡販等により営業利益は14億円、当期利益は8.5億円を見込む。



2015年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2014年3月期 (実績)		2015年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高	29,436		31,500		2,063	107.0%
営業利益	3.9%	1,161	4.5%	1,405	243	120.9%
経常利益	3.6%	1,047	4.0%	1,256	208	119.9%
当期純利益	2.4%	720	2.7%	848	127	117.7%

2015年3月期 配当予想

中間 10円 + 期末 10円 = 20円





4. 中期経営計画 「バリュークリエーション15」の進捗



パンチグループの強み

2013-2015 中期経営計画 バリュークリエーション15

パンチグループ最大の強み

カタログ品 + 特注品

一気通貫の生産体制

1,700台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

蓄 積

創業以来のノウハウ

投 資

研究開発本部



中期経営計画「バリュークリエーション15」の基本戦略

3つの「対処すべき課題」に「攻め（成長戦略）」と「守り（体制・体質改革）」で取組む！

	日本	中国	東南アジア他
① グローバル化	■ 戦略本社 グローバル事業本部新設		
	■ 米州戦略		■ 欧州戦略
② 新市場の開拓	■ マーケティング ・医療関連 ・食品/飲料関連 ・金属光造形技術	■ 内陸部市場攻略	■ 東南アジア新体制のフルスイング ・マレーシアを製販のコア拠点とした事業基盤確立 ・インドネシア合併事業の早期立ち上げ ■ インド ・自動車の深耕と家電攻略
③ 高収益事業への転換	■ R&D ・研究開発本部	■ 戦略製品拡販	■ 超硬事業拡大

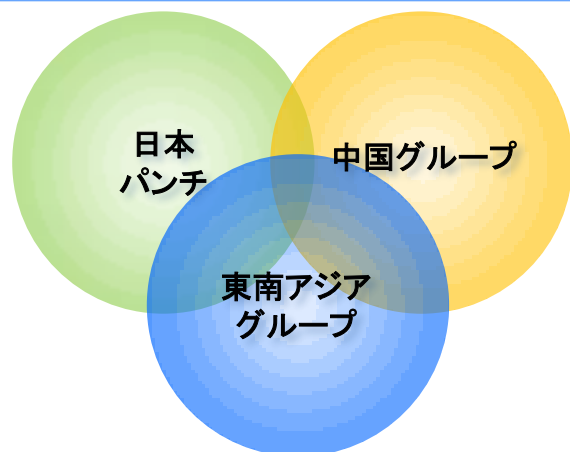


地域別の進捗①日本

当社、中国グループ & 東南アジアグループをコアにグローバルマーケティング推進
日中連携で研究開発体制強化。

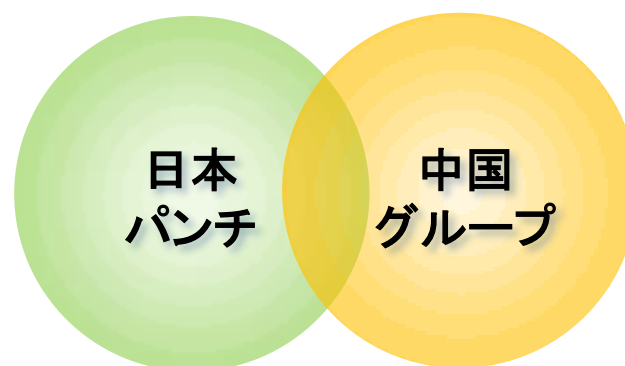
お客様

【攻め】 マーケティング



グローバル事業本部

【守り】 研究開発



研究開発本部

地域別の進捗②中国

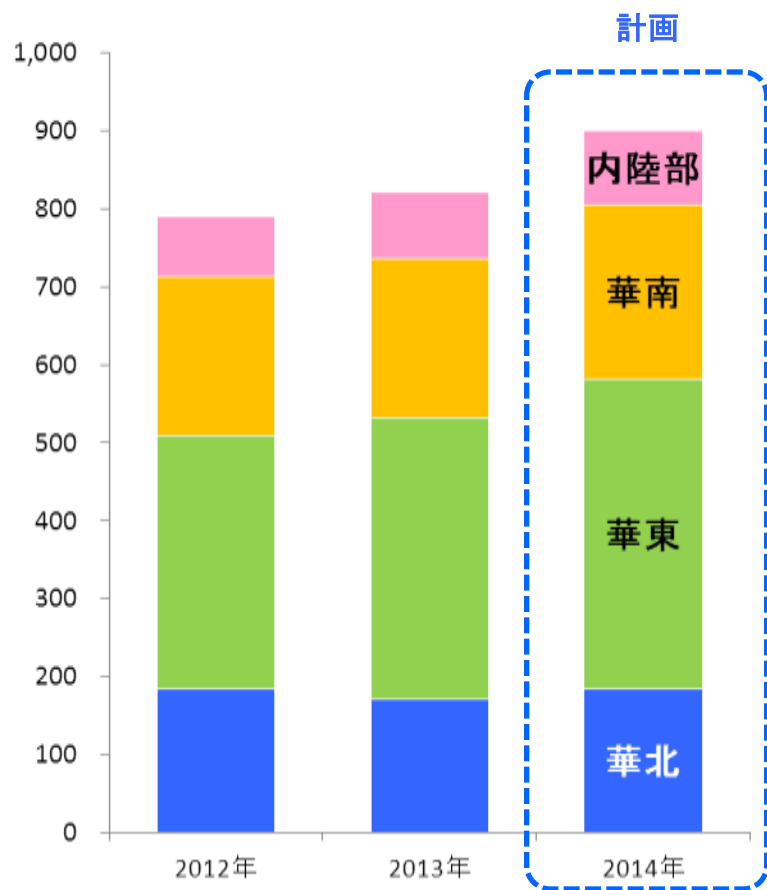
内陸部攻略

重慶での生産・物流拠点のフル稼働で成長市場を攻略。

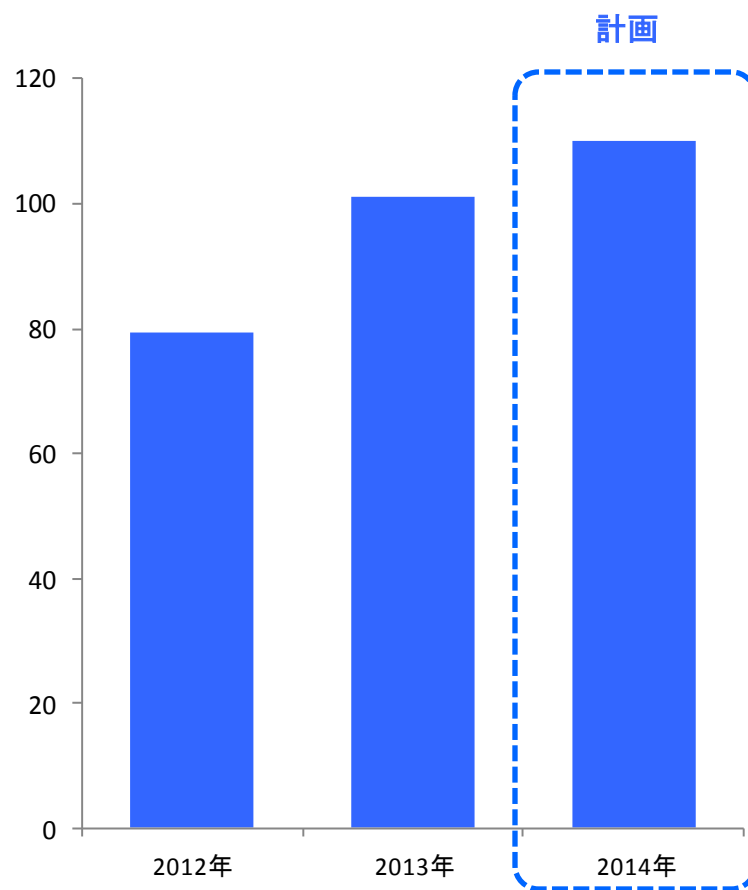
戦略製品拡販

研究開発成果である戦略製品拡販で収益性改善と投資回収。

(単位:百万元)



(単位:百万元)



地域別の進捗③東南アジア他

各国の業界動向、市場動向を踏まえ、事業体制の最適化を推進。



※パンサーKLは、マレーシアパンチに事業を移管したため、清算手続中であります。

アジア

- ・インドネシア合併会社設立、ベトナムパンチのハノイ事務所を開設と体制は確立。
- ・製販一体の強みを活かし、更なる事業体制の基盤を強化していく。

米州、欧州

- ・中国グループと東南アジアグループの連携での欧米市場への取組み強化。
- ・米フォード社WDX規格サプライヤーの指定を梃子にグローバル展開を加速。



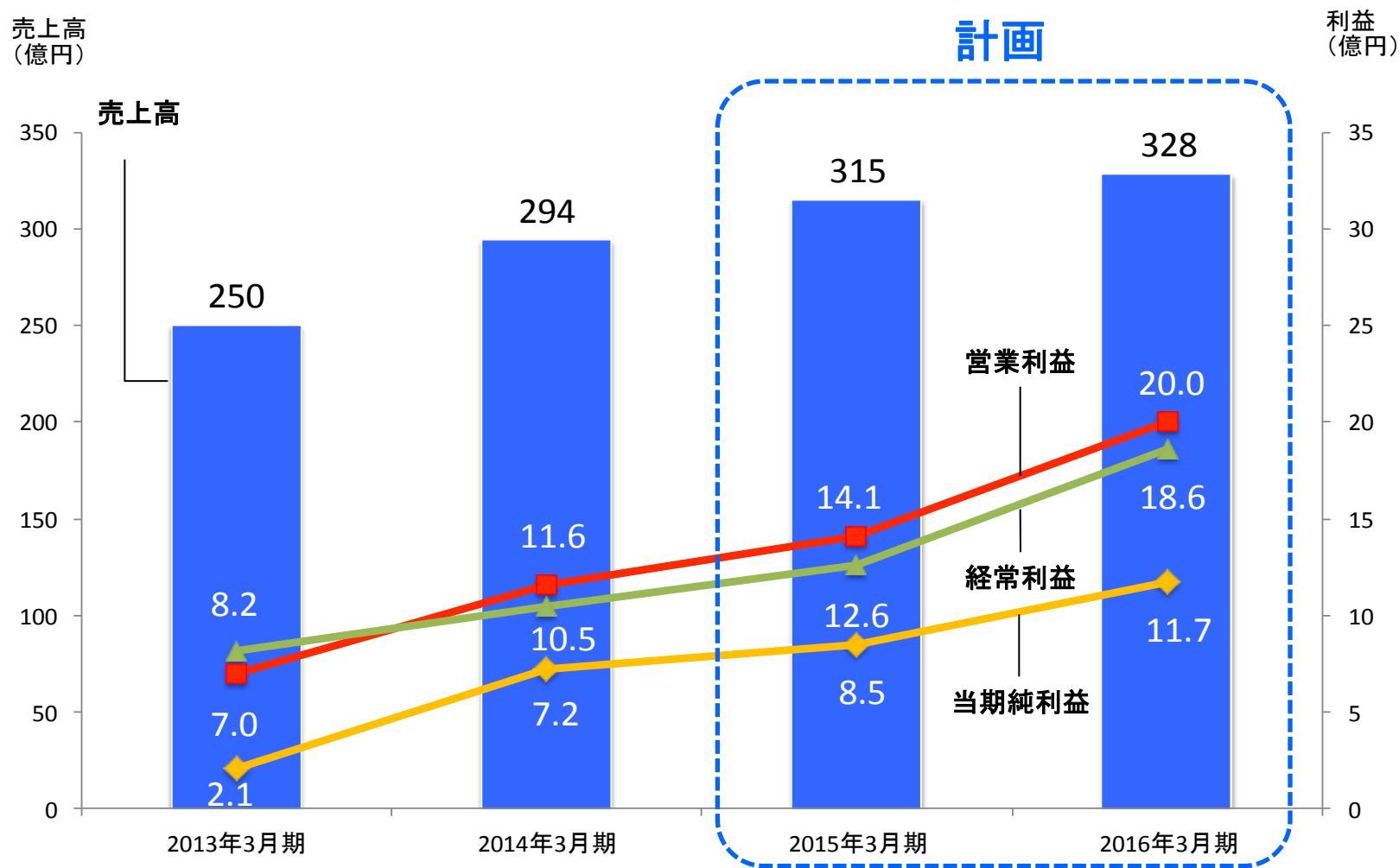
中期経営計画「バリュークリエーション15」の見直し

(単位:億円)

	当初の経営計画(2013/11/11公表)		
	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
売上	280.2	288.8	304.8
営業利益	10.4	13.2	20.0
経常利益	8.3	12.2	18.5
当期純利益	5.8	7.8	11.6
	2014年3月期 (実績)	見直し後の経営計画(2014/5/9公表)	
		2015年3月期	2016年3月期
売上	294.3	315.0	328.0
営業利益	11.6	14.0	20.0
経常利益	10.4	12.5	18.5
当期純利益	7.2	8.4	11.6
比較増減			
売上	14.1	26.1	23.1
営業利益	1.1	0.7	0.0
経常利益	2.0	0.3	0.0
当期純利益	1.4	0.6	0.0

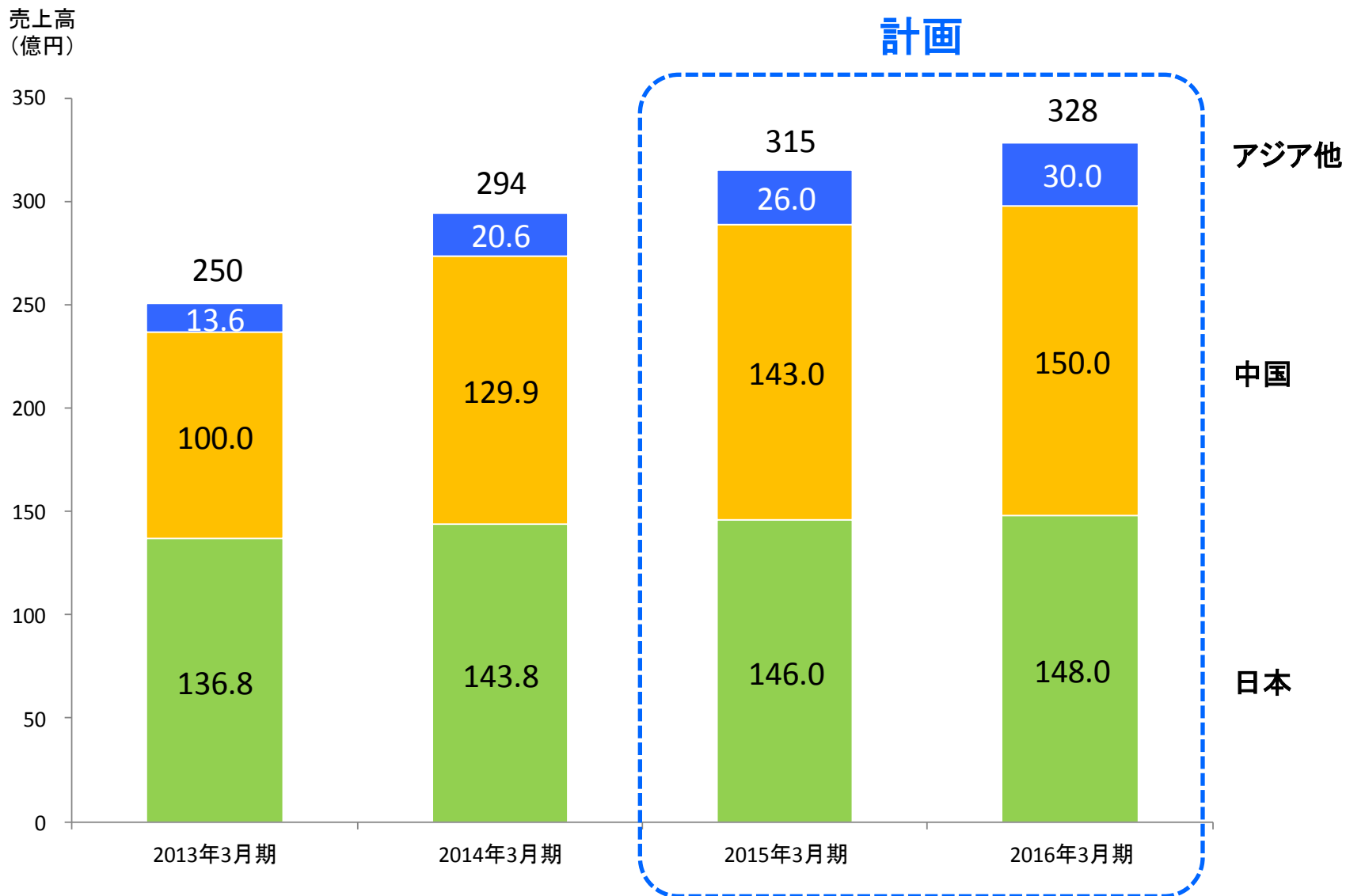
経営目標①売上・利益

2016年3月期、売上高320億円以上、営業利益20億円以上を目指す！



経営目標②地域別売上高

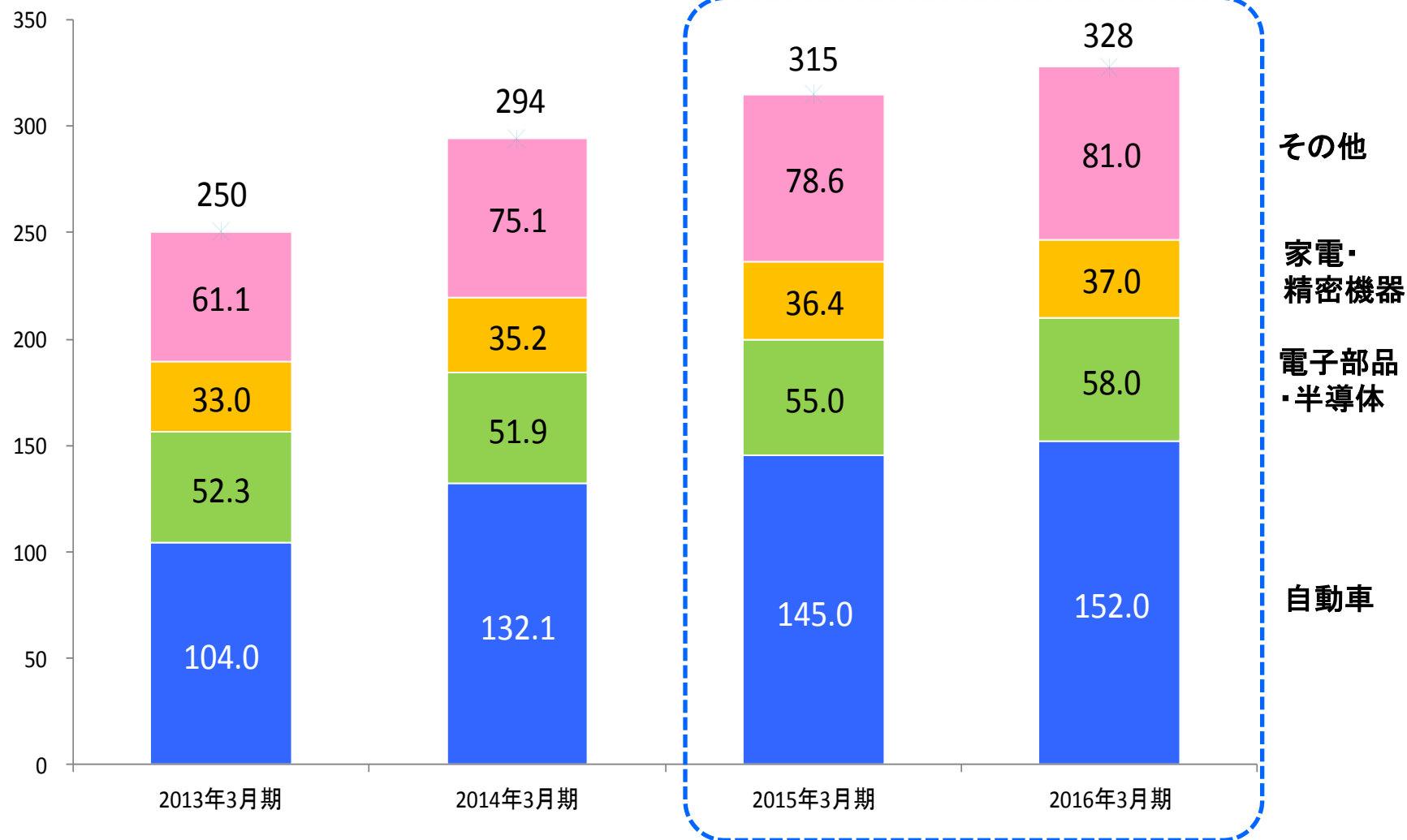
売上高
(億円)



経営目標③業種別売上高

売上高
(億円)

計画



経営目標④財務指標

(単位:億円)

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (計画)	2016年3月期 (計画)
売上高	294	315	328
営業利益	12	14	20
経常利益	10	13	19
当期純利益	7	8	12

総資産	245	244	256
総負債	151	149	150
うち有利子負債	77	71	65
フリーキャッシュ・フロー	▲0.6	7	13
自己資本利益率(ROE)	9.6%	8.8%	11.6%



5. 会社概要



会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	15億7,154万円
従業員数	3,761名(グループ連結、2014年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弾簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。



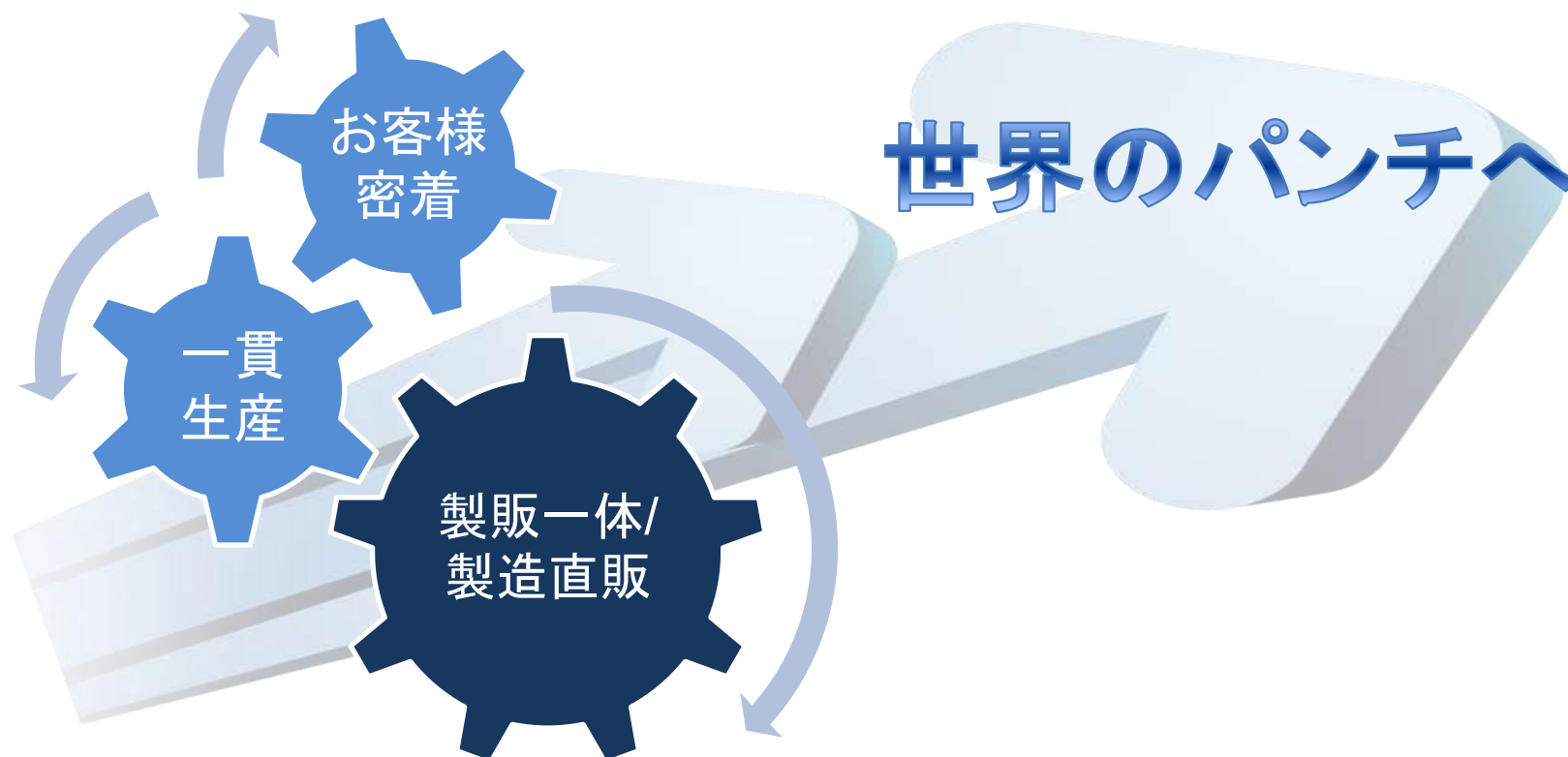
沿革

1975年	創業、プリント基板用穴あけピン製造
1982年	プラスチック金型用部品に進出（ハイスエジェクタピンの量産化に成功）
1983年	金型用部品の全国販売を開始 北上工場設置
1989年	宮古パンチ工業（現 宮古工場）設立 プレス金型用部品に進出
1990年	中国大連に製造拠点設立
2001年	中国に販売拠点設置
2002年	中国国内での金型用部品販売を開始
2010年	インドに販売拠点設立
2011年	兵庫工場設置 インド国内での金型用部品販売を開始
2012年	パンサー社（現 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.マレーシア・ペナン）と資本業務提携 東京証券取引所市場第2部に上場
2013年	中国重慶に生産物流拠点設置 パンサー社（現 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.マレーシア・ペナン）を完全子会社化 インドネシア合併会社設立
2014年	東京証券取引所市場第1部銘柄に指定

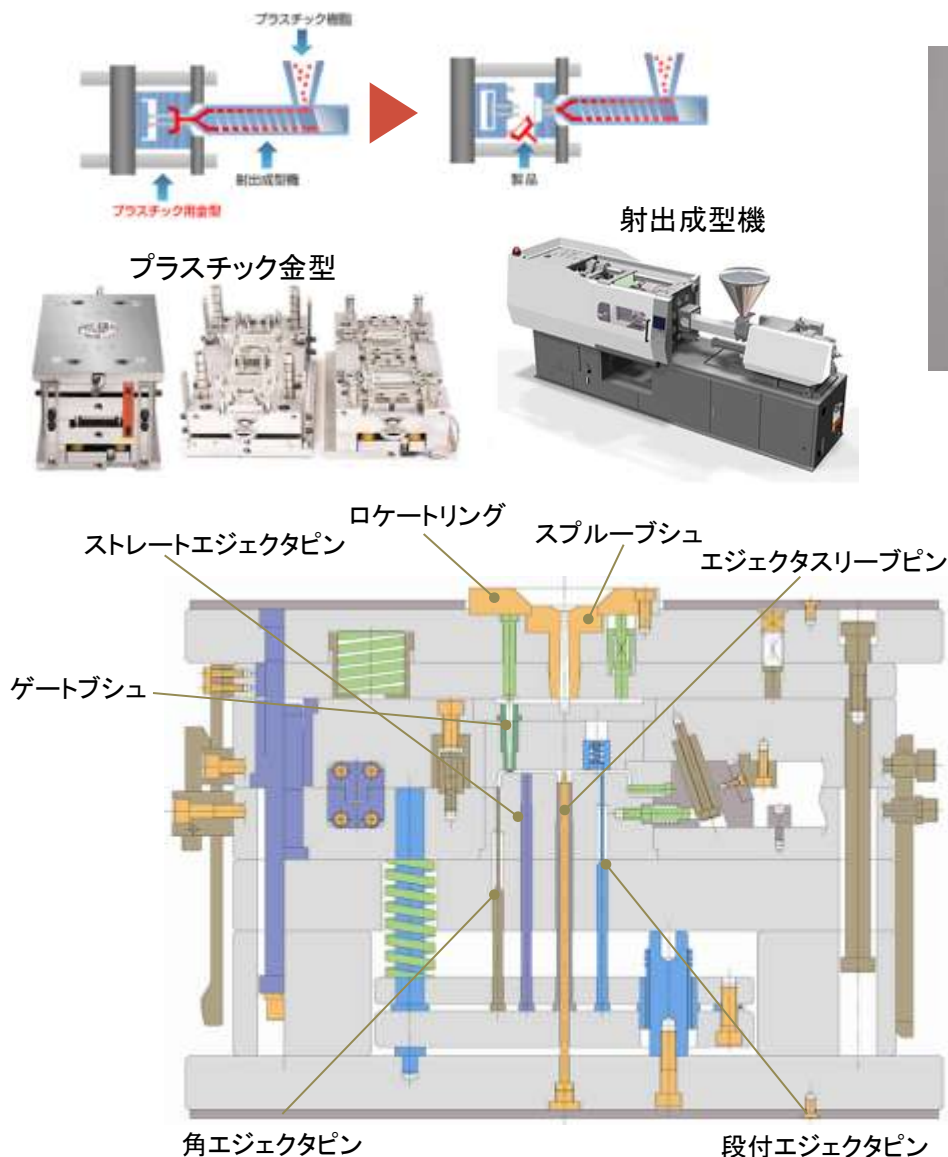
創業40周年記念ロゴ



金型部品業界でのトップブランドを確立し
製販一体企業としての優位性を活かした
高収益企業を目指す



プラスチック金型と金型用部品



スプルーブシュ・ロケットリング



エJECTタピン

●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエJECTタピン、スプルーブシュ、ゲートブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エJECTタピン……成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ……射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

ゲートブシュ……スプルーブシュから金型内の製品部にプラスチックを流す部分であり、成型後、金型を開く時にこの部分から製品部を切り離すための部品



プレス金型と金型用部品



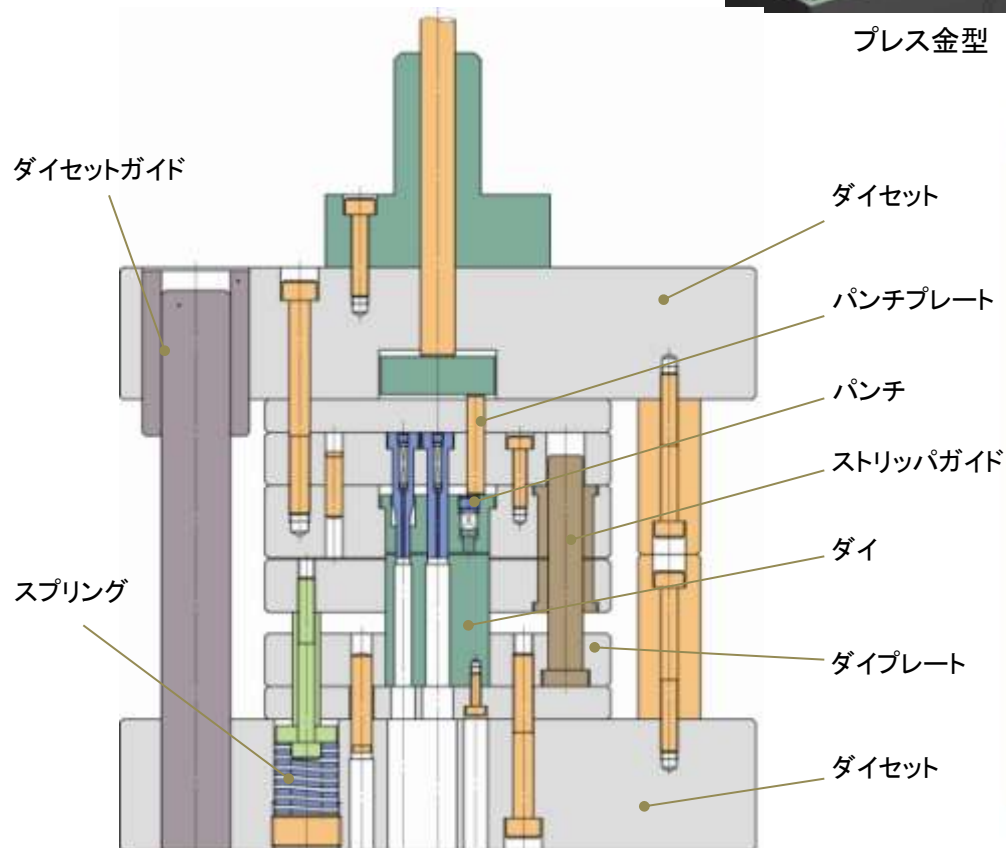
プレス金型



パンチ



ストリップガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料（金属の鋼板）を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品
- ストリップガイド パンチ・ダイの関係をダイセットのガイドを用いて位置合わせをして、適正なクリアランスを保つために使用する部品



事業内容

工程設計、材料調達から出荷まで一貫した生産体制が強み

特注品製造工程

工程
設計

材料

切削
加工

熱
処理

研削
加工

放電
加工

表面
処理

完成
検査
(全量)

出荷
7~14日

お客様

一貫通貫の生産体制

お客様

材料

熱
処理

切断
加工

鍛造
加工

ブランク
材
(在庫)

研削
加工

表面
処理

完成
検査
(全量)

出荷
通常3日

標準品製造工程



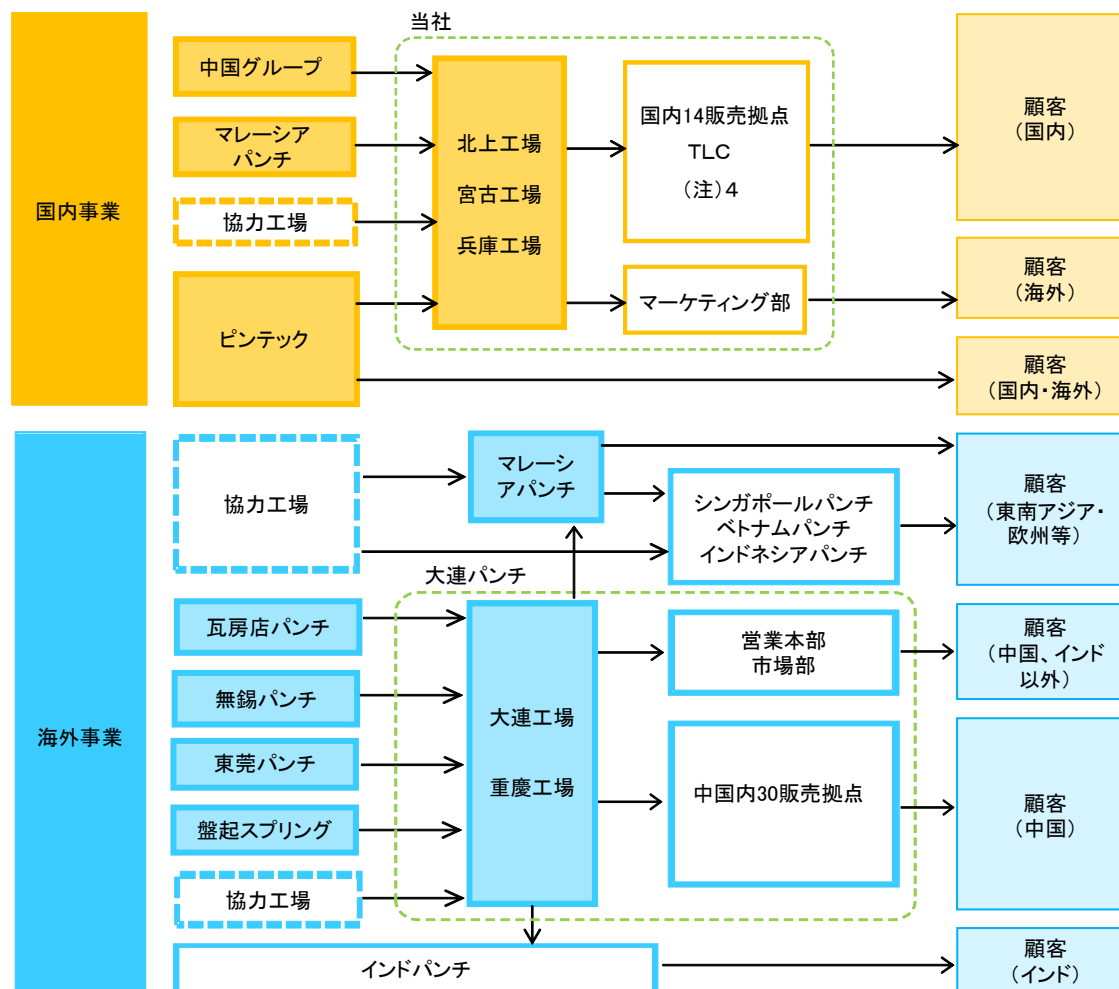
当社及びグループ各社の機能と役割

	会社名	略称	機能と役割
国内事業	パンチ工業株式会社(当社)	—	グループ統括機能。 国内3工場、ピンテック、中国グループ各社、マレーシアパンチで製造した製品と、協力工場で製造した製品等を、主として国内へ販売。
	株式会社ピンテック	ピンテック	主として当社向けの製品を製造、販売する一方、ピンテック独自のプリント基板金型用精密部品を製造し、国内外へ販売。
海外事業	盤起工業(大連)有限公司	大連パンチ	中国グループ統括機能。 傘下4社からの仕入れも含め、製造した製品、半製品、及び協力工場にて製造した製品等を、主として中国国内及び当社に販売。
	盤起工業(瓦房店)有限公司	瓦房店パンチ	主として大連パンチ及び当社向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業(無錫)有限公司	無錫パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業(東莞)有限公司	東莞パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起弹簧(大連)有限公司	盤起スプリング	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.	インドパンチ	主として大連パンチ製品等をインド国内へ販売。
	PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.	マレーシアパンチ	東南アジアグループ統括機能。 自社及び中国グループ等で製造した製品と協力工場で製造した製品を、主として当社、欧州、東南アジアへ販売。
	PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.	パンサーKL	マレーシアパンチに事業を移管したため、清算手続中。
	PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.	シンガポールパンチ	マレーシアパンチ等で製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてシンガポール国内へ販売。
	PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.	ベトナムパンチ	マレーシアパンチ等で製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてベトナム国内へ販売。
	PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA	インドネシアパンチ	マレーシアパンチ等で製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてインドネシア国内へ販売。

- (注) 1. 国内事業とは、当社及びピンテックの事業を、海外事業とは、大連パンチ以下11社の事業を意味しております。
2. 中国グループとは、上記、大連パンチ及び傘下4社(瓦房店パンチ、無錫パンチ、東莞パンチ、盤起スプリング)の総称であります。
3. 東南アジアグループとは、上記、マレーシアパンチ及び傘下4社(パンサーKL、シンガポールパンチ、ベトナムパンチ、インドネシアパンチ)の総称であります。



事業系統図

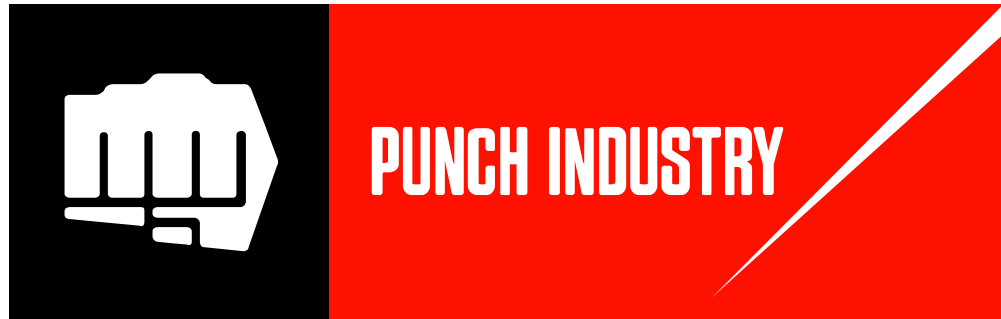


- (注) 1. は当社グループの社内生産部門を示しております。
2. は当社グループの社外生産部門を示しております。
3. → は製品等の流れを示しております。
4. TLCは当社国内物流センターである東京ロジスティクスセンターの略称であります。

本日はありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課
電話: 03-5460-8237 e-mail: info-corp@punch.co.jp



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。